

「県行政のスリム化・効率化」を進めています!

～行財政改革の「平成18年度実施計画」を策定～

国の「三位一体の改革」や市町村合併の進展など、県を取り巻く環境が大きく変化する中、必要な県民サービスの維持・充実を図り、「元気で明るい熊本づくり」を進めるため、行財政改革をさらに加速する必要があります。今年度は、今回策定した実施計画に沿って、これまで以上に行財政改革に取り組みます。

● 平成18年度行財政改革の取り組み ●

時代に合った行政サービスを提供するため、県の役割を再確認します。

県が行っている事業に、民間の活力を導入します。

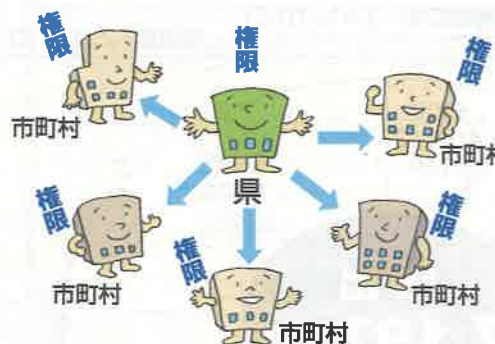


民間のノウハウの活用

- さまざまなアイデア
- 施設を利用する方などの満足度向上
- 「指定管理者制度」の導入
「グランメッセ熊本」や「熊本県民総合運動公園」など40施設に新たに導入

主な取り組み

住民の皆さんにとって身近な事務を市町村に移譲していきます。



市町村への権限移譲

- 個性豊かな地域づくり
- 住民に身近な権限(24法令128項目)を新たに移譲
- ※これまで(平成12～16年度)に43法令410項目を移譲

限られた大切な経営資源(お金と職員)を有効に活用します。

県民の皆さんの大切な税金。だから、使い方をきちんとチェックします。



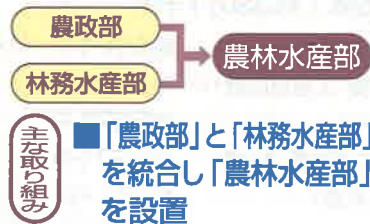
事業の優先度のしゅん別

- 施策の重点化
これまでの事業の廃止や統合を進め、6分野58プロジェクトに予算を重点配分(予算額848億円)

主な取り組み

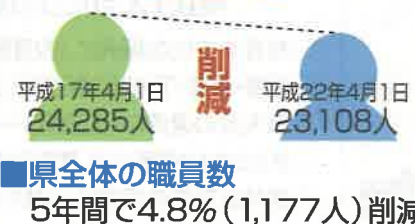
組織の見直し、職員数の削減、給与の見直しに取り組みます。

組織の見直し



主な取り組み

職員数の削減



■県全体の職員数
5年間で4.8%(1,177人)削減

「ユニバーサルデザイン」と「パートナーシップ」を基本として、県民の皆さんとともに取り組みます。

パートナーシップにより、県行政を推進します。



県民の皆さんとの連携の推進

- 「熊本型県民連携事業(いわゆる熊本型ゼロ予算事業)」の展開
- 県民の皆さん、NPO法人などとの協働
- 県事業への企画提案

NPO法人 県 県民の皆さん

必要な情報を、分かりやすく、的確に提供します。



県民の皆さんとの情報の共有化

- 説明責任
- タイムリーな情報提供
- 県職員出前講座「パートナーシップ・セミナー」の実施
- ユニバーサルデザインによる情報発信

行財政改革の推進期間 平成17～21年度

行財政改革に取り組み、「元気で明るい熊本づくり」を進めます。